

エビデンスを「つかう」を学ぶ 入門ワークショップ

ー現場での取り組み改善、効果的なプログラム開発、既存のプログラムの再構築のためにー

※エビデンス＝データや統計分析に基づく根拠、証拠

近年、実証研究で得られたエビデンスに基づく実践(EBP:Evidence-based Practice)の重要性に注目が集まっています。英国や米国では、教育・福祉・非行分野等でもEBPが行われ、日本でもその導入に向けた動きが進んでいます。市民活動・NGO/NPOの分野でもEBPはこれから大事な考え方となりそうです。

一方、「エビデンス」は、適切に使われなければ、間違った結論が「エビデンスに基づく」として主張されてしまう危険性もはらんでおり、エビデンスを正しく解釈し使える専門性(エビデンス・リテラシー)が求められています。そこで、エビデンスを見分け、つかうことができる反省的実践家を育てるワークショップを開催します。

日時 (1日目) 2019年 **10月5日(土)** 10:30 – 17:30(10:15受付)

(2日目) 2019年 **10月6日(日)** 9:30 – 16:30(9:15受付)

会場 伏見ライフプラザ12階 ソレイユプラザ研修室

愛知県名古屋市中区栄一丁目23番13号 地下鉄「伏見」駅 6番出口より南へ徒歩約7分

定員 **45名様** (2日間参加できる方を優先)

※先着順のため、定員に達した場合は受付を終了致します。

※限られた人数のみの参加受付となりますので、申込後のキャンセルは原則ご遠慮ください。

参加費 2日間 6,000円 (1日あたり3,000円)

* 早割:8/31(土)までの申込みは、5,500円

* 名古屋NGOセンター賛助会員Bおよび正会員(加盟団体)の方は、500円引き

対象 国際協力・教育・福祉・保健・非行分野等の実務家や
エビデンスに基づく実践に関心のある方等

1日目

「つかう」意義と批判的吟味の 基礎を学ぶ

- ・エビデンスをつかうとは?なぜ、つかうのか?
- ・エビデンスを見分けるための批判的吟味の講義
- ・研究論文の探し方

2日目

批判的吟味を身に着け、現場への 適用を考える

- ・批判的吟味の実践グループワーク
- ・現場での適用

講師

つとみ ひろ
津富 宏さん
(静岡県立大学教授)

さいご みさ
西郷 民紗さん
(HITOTOWA、Early Intervention勉強会)

購入推奨テキスト

イアン・クロンビー「医療専門職のための研究論文の読み方ー批判的吟味がわかるポケットガイド」

※効率よく学んでいただくために事前に論文をお読みいただきます(申込み後にご案内)

主催・申込み先

認定NPO法人 名古屋NGOセンター

申込み方法① 次の URL からお申込みください。

<http://www.nangoc.org/information/ebp.php>

〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル7F

TEL・FAX: 052-228-8109 (火～土13～17時) メール: info@nangoc.org

申込み方法② 上記まで「お名前」「ご所属」「電話番号」「参加を希望する日にち」「メールアドレス」「期待すること」をお伝えください